

# 付属語

NO. 1

## ●付属語を見つける

手順①文を文節に分けよう！

私は海が好きだ。

手順②文節を単語に分けよう！

私は海が好きだ。

手順③自立語・付属語に分けよう！

私は海が好きだ。

### ヒント

手順①：「～ね」で分けてみよう。  
手順②：単語は意味の（ ）  
手順③：自立語の方が見つけやすい。

- ・自立語の特徴は（ ）に必ず（ ）にくる。それ以外が（ ）あり、必ず（ ）にくる。それ以外が（ ）ということ。

では、文節、単語に分けて、付属語を見つけよう！

①私は海が好きなので沖縄に行つた。

②君は本当に優しい人だね。

③体育館まで歩くのさえ嫌だ。

④ずっとやつても終わらない。

## ●助詞を見つける

手順①付属語の中から活用のない語を探そう

①今日の給食は何だろ？

うか。

②花が校庭にたくさん咲いた。

③「やめてよ。」と言われた。

④よし、今日も大丈夫だな。

⑤君の犬が犬小屋で寝ている。

⑥よいとか悪いとかはどちらでもよい。

⑦牛乳だけ買いました。

### ヒント

語の尾とな「手順①」  
の「はい活用」の  
「な変語」の  
「い化語」の

# 付属語

N.O. 2

● 格助詞：主として（ ）に付き、それと下の語句との（ ）助詞。

問 一 次の各文の——線の格助詞「で」の働きを後から記号で答えなさい

①大雪で電車が止まつた。

②筆であて名を書く。

③駅の改札を出たところで待ち合わせる。

④きれいな折り紙で鶴を作る。

⑤五分間で戻つてきなさい。

ア 場所 イ 手段 ウ 材料 エ 限定 オ 原因・理由

格助詞「の」の3つの役割

一、（ ）

（ ）：「が」に置き換えられる。

君の笑顔は美しい。

二、（ ）

（ ）：「が」に置き換えられる。

虹の見える場所。

三、（ ）

（ ）：「こと」「もの」に置き換えられる。

話すのがつらい。

問 二 次の各文の——線の格助詞「の」の働きを後から記号で答えなさい

①君の嫌いなことを教えてください。

②とても強いのかと思つていた。

③朝の牛乳はおいしいね。

④中国の留学生を迎える。

⑤おばけの出る山はあるのでしょうか。

⑥自分の犬に吠えられる。

⑦もつと新しいのがいい。

⑧風の吹く方へ行く。

（ ）（ ）（ ）（ ）（ ）（ ）（ ）（ ）

ア 連体修飾語を示す。イ 主語を示す  
ウ 体言と同じ資格を与える（準体言詞）

# 付属語

NO. 3

●副助詞：（ ）に付いて、（ ）

例 今日だけ | 寒い。 を付け加える助詞。

例 終わりも見られなかつた。

問 一次の文から助詞を○で囲み、副助詞を見つけ、横に副と書きなさい。

①一時間もあるけど これだけしか できない。

②体育館まで 歩くのさえ 嫌だ。

③よいとか 悪いとかは どちらでも よい。

④一人ずつ 入つて きてね。

⑤やれば やるほど うまく なる。

問 二 各文の○の中にある副助詞を書き入れなさい。

①一人の力○○で成功するはずがない。

②コーヒー○○入れましょうか。

③部屋にはいっぱいいると思つたけれど、犬一匹○○いない。

④優しい○○、和やかだ○○言われる。

⑤一キロ○○歩いた。

⑥今日は負けたが、今度○○勝つぞ。

⑦えつ、彼だけじやなく、君○○行くのかい。

問 三 次の副助詞は、どんな意味を付け加えているか、あとから選びなさい。

①子供にまで笑われる。

②雪に雨さえまじつた。

③だれか持つて来ましたか。

④今日からは三年生です。

⑤一人ずつ入つてきてね。

⑥水さえあれば生きていける。

ア強調 力割り当て

イ軽くみなす キ限定

ウ動作の直後 ク累加

エ他を類推

オ不確か

# 付属語

N.O. 4

●接続助詞：主として（ ）に付き、前後を（ ）・（ ）の関係がある。（ ）の関係がある。

①順接（上の文から当然の結果がくる）の関係でつなぐ

「から・ので・ば・と・て（で）・なり」

新しいから丈夫だ。（順接・確定） 高いので買えない（順接・確定）  
やすければ買う。（順接・仮定） 雨になると困る。（順接・仮定）  
帰つて休む。（動作の推移） 重くて持てない。（原因・理由）  
家に帰るなり、テレビを見る。（直後に動作が続く）  
風が吹けば、波が立つ。 ある条件が備わると、いつでもあること  
風が吹くと、波が立つ。 が起こる場合の条件を示す。

②逆接（上の文から意外な結果がくる）の関係でつなぐ

「が・けれど（けれども）・のに・ても（でも）・と・て（で）・ながら・つつ」  
冷たいが、平氣だ。（逆接・確定） 晴れたが、また曇つた。（対比）  
勉強したけれど、成績はよくない。（逆接・確定）  
暑いのに汗をかかない（逆接・確定）  
読んでもわかるまい。（逆接・仮定）  
混乱しようと関係ない（逆接・仮定） 見て見ぬふりをする。（逆接）  
知つていながら教えない。（逆接） 知りつつ知らん顔（逆接）

③並立（上と下が対等）の関係でつなぐ

「が・けれど（けれども）・ば・ながら・し・たり（だり）・て（で）・つつ」  
才能もあるが（けれども）努力もある。（並立）  
血もあれば涙もある。（並立） 食べながら歩く。（並立）  
歌いつづ舞う。（並立） 優しくて親切だ。（並立）  
行つたり来たりする。（並立） 忘れたりして悪い。（他を類推される）  
風邪も吹くし、雨も降る。（並立）  
よく休むし、困る。（他を類推される）

④補助の関係でつなぐ  
「て（で）」

聞いてみる。 わかつて いる。 積ん で ある。

# 付属語

接続助詞の問題

NO. 5

問一 適切な接続助詞を入れなさい。

①もう暑い（ ）扇風機を出した。

②疲れた（ ），まだ続けたい。

③話し（ ）歩いた（ ），前の人ぶつかった。

④起きる（ ），新聞を取りに行く。

⑤後ろを向い（ ）立ち上がつ（ ）して、君は落ち着きがない。

⑥彼なら（ ），きっと勝つ（ ）満足しない。

問二 次の接続助詞の種類を答えなさい。

①負けそうだけれど，絶対にあきらめない。

②寝坊をしたので，電車に乗り遅れる。

③明日雨が降れば，遠足は中止だ。

④血もあれば涙もある。

⑤彼はなんでも知つている。

⑥この製品は新しいから丈夫だ。

接続助詞の問題：「と」の区別をしよう！  
問三 次の各文の線の「と」が、格助詞であれば「ア」、接続助詞であれば「イ」と答えなさい。

①一人前の職人と話す。

②変身してライダーとなる。

③「やめてください。」と言われた。

④夏になると海に行こう。

⑤さぼると怒られた。

（ ）（ ）（ ）（ ）

# 付属語

終助詞：（ ）や（ ）

話し手・書き手の（ ）・（ ）

（ ）や（ ）

態度を表す。

NO. 6  
など

の意味がある。

問 一 次の終助詞は、どのような気持ちを表すかを答えなさい。

① この 店 は なつかしい な。

② 次 は どう する の。

③ 絶対に 部屋 から 出る な。

④ よし、 今日 も 大丈夫だ な。

⑤ ゴール まで もう すぐ よ。

問 二 次の終助詞と同じ意味のものを選びなさい。

ねえ、そろそろ休もうか。

（ ）  
ア このままでいいのか。  
イ よいよあなたも行きますか。  
ウ 私ともダンスを踊りませんか。

問 三 次の各文の一線の終助詞「か」の意味をあとから選び、記号で答  
えなさい。

① 作品の仕上がりはどうですか。

② どうしたら許してもらえるのだろうか。

③ そろそろ終わりにしようか。

④ さて、行こうか。

⑤ 君は本当にこんなものか。

ア 疑問 イ 質問 ウ 勧誘 エ 反語

（ ） （ ） （ ）  
（ ） （ ） （ ）

# 付属語

N.O. 7

● 助動詞：付属語で活用がある品詞

れる・（受け身）・自発・可能・尊敬）

① 「受け身」とは、「うがくに（から）くれる（られる）」となる。「うに」の部分は省略されることもある。

\* わたしが先生にほめられる。

② 「自発」とは、自然とそういう気持ちや事態になる、という意味。「思う」「感じる」などの語につく場合が多い。

\* 町を寂しく感じられる。（自然とそうなる）

③ 「可能」とは「できる」という意味。「られない」は不可能を表す。「うすることができる」といい換えができる。

\* 全然見つけられない。（見つけるのができない）

④ 「尊敬」とは目上の相手への敬意を示す。（おうになる）

\* 先生がみんなへ話される。

問題1 次の文の「れる」「られる」の意味を答えよ。

- 1 使い慣れない言葉では、ものは考えられない。  
2 いま入って来られたかたが会長さんです。  
3 校長先生が賞状の言葉を読み上げられました。  
4 故郷の友が懐かしく思い出される。  
5 この問題は、人々に关心を寄せられている。  
6 あなたにお話ししないではいられませんでした。  
7 母に悲しまれるようなことはしたくない。  
8 やはり先生の言われたことが正しかった。  
9 山の中腹あたりでしばらく雨に降られた。  
10 友達としての好意がしみじみと感じられた。  
11 ただ黙つていては、誤解されてもしかたがない。  
12 私にはむずかしくてはつきり答えられません。

ア 受け身

イ 自発

ウ 可能

エ 尊敬

# 付属語

N.O. 8

● 助動詞：付属語で活用がある品詞

## ようだ（比況・推定・例示）

- ① 「比況」は何かのたとえであることを示す。「まるで～」の形など
- ② 「推定」は確かな根拠に基づいて推量すること
- ③ 「例示」はわかりやすく例として示すこと

問題1 次の「ようだ」の働きを答えなさい。

- ① 今夜は、どうやら雪になるようだ。
- ② 港町とは、神戸のような街を言う。
- ③ あまりに突然で、まるで夢のようだつた。
- ④ さらにがんばるようなら、応援しよう。

## ア 比況 イ 推定 ウ 例示

### そうだ（様態・伝聞）

- ① 「様態」は「どういう様子だ」の意味

\* まもなく始まりそうだ。

- ② 「伝聞」「～という話だ。」の意味

\* まもなく始まるそうだ。

問題2 次の「そうだ」の意味を答えなさい。

- ① 大きく揺れて今にも倒れそうだ。
- ② あの家には誰も住んでいないそうだ。
- ③ 天才は九十九パーセントの努力だそうだ。
- ④ この分なら信頼して良さそうだ。

## ア 様態 イ 伝聞